

岡山県環境保健センター試験研究成果報告書

岡山県環境保健センター 試験研究の成果報告書

番号	R4-1	課題名	岡山県におけるPM2.5高濃度事象に関する研究				
期間	R4～6年度	担当部課室	環境科学部 大気科				
試験研究の成果	1 目標達成状況 調査期間中にPM2.5が高濃度になった要因を整理した。また、児島湾干拓地周辺において、秋期に野焼きの状況とPM2.5や燃焼由来物質の濃度の関連を調査した。これらの結果から、高濃度事象に係る知見を充実させ、環境基準達成率の改善に向けた県の施策推進の一助とした。						
	2 具体的効果 本調査研究で得られた成果を県の施策である「晴れの国ブルースカイ事業」に活用した。稲わらの野焼き率（R1：12.5%→R5：7.5%）や秋期の高濃度事象はおおむね減少しており、児島湾干拓地周辺の測定局の環境基準達成率の改善に一定程度貢献した。						
	3 当初目的以外の成果 野焼きからすき込みへの転換がPM2.5対策に有効であることを実証実験で証明した。						
	4 費用対効果 野焼きの煙の数の目視での計測や営農者の協力を得た野焼きやすき込みの実証実験など、安価な手法で調査を行った。調査結果を晴れの国ブルースカイ事業の啓発チラシに掲載し、活用した。						
実施期間中の状況	1 推進体制・手法の妥当性 ・できるだけ多くの営農者等の理解促進に繋がるようシンプルで理解しやすい手法で調査や解析を行った。 ・年間従事人数は0.7人						
	2 計画の妥当性 調査期間を通じて高濃度事象の要因を整理するとともに、秋季に児島湾干拓地周辺で野焼きとPM2.5濃度の関連を調査することで高濃度事象に係る知見を充実させることができた。						
成果の活用・発展性	1 活用可能性 引き続き晴れの国ブルースカイ事業について、営農者等に協力を求める際の説明に活用できる。						
	2 普及方策 晴れの国ブルースカイ事業の啓発チラシ、年報、センターだより、学会発表等						
	3 成果の発展可能性 高濃度事象の原因の解明にはPM2.5の成分分析結果が重要な手がかりとなるため、PM2.5自動測定機を活用した成分分析手法を次期調査研究で検討する。						
実績	実施内容		年度	R4	R5	R6	総事業費 〔単位：〕 千円
	PM2.5常時監視結果からの高濃度原因の解析						
	県南でのPM2.5分析						
	野焼き及びすき込みの実証実験						
	まとめ						
	事業費			119	119	119	357
	一般財源			119	119	119	357
	外部資金等			0	0	0	0
	人件費(常勤職員)			5,600	5,600	5,600	16,800
	総事業コスト			5,719	5,719	5,719	17,157

留意事項 当初試験研究計画書及びこれまでの試験研究中間報告書を添付すること。